

認知症サポーター養成講座とは



5人集まれば
開催できます!

認知症について基本的なことを学び、地域の私たちにできることを考える講座です。

講座時間と受講費

時間 基本90分

参加費 無料
(会場は申込団体が準備)



認知症サポーター養成講座の様子

受講対象者と条件

- 1.京都市内在住もしくは通勤・通学されている方
※医療・福祉専門職を除く
- 2.講座の開催場所が京都市内であること

申込方法

長寿すこやかセンターに開催申込書を
開催1か月半前までに提出してください。

<講座参加者の感想>

バイト先のコンビニで、認知症かな?と思う
人に、これからは「お手伝いしましょうか?」など
の声を掛けていきたいと思いました。

(高校生)

たとえ、おじいちゃん、おばあちゃんが認知
症であっても、なくても、気を配れるようにした
いです。

(小学生)

認知症サポーター養成講座に関する問合せは、京都市長寿すこやかセンターまでご連絡ください。

京都市長寿すこやかセンター

TEL 075-354-8741

京都市成年後見支援センター

TEL 075-354-8815

〒600-8127
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)ひと・まち交流館 京都4階

FAX 075-354-8742

E-mail sukoyaka.info@hitomachi-kyoto.jp

開所日/時間 月曜～土曜:午前9時～午後9時30分
日曜・祝日:午前9時～午後5時

休所日 毎月第3火曜日
(国民の祝日にあたるときは翌日)
年末年始(12月29日～1月4日)



- 市バス4・17・205系統「河原町正面」下車
- 市バス80系統「河原町五条」下車
- 京阪バス「河原町五条」下車
- 京阪電車「清水五条」下車 ①番出口より徒歩約8分
- 市営地下鉄烏丸線「五条」下車 ⑤番出口より徒歩約10分

京都

vol.50
2019.09

すこやか かわらばん

認知症の人に
やさしいまちを目指しましょう



認知症サポーター
次のステップへ

京都市長寿すこやかセンター (運営 社会福祉法人 京都市社会福祉協議会)

京都市長寿すこやかセンターでは、認知症・介護等に関する相談をはじめ社会参加の支援、
権利擁護の推進など高齢者に関するさまざまな事業を総合的に行っています。

認知症サポーター 次のステップへ

認知症の人にやさしいまちを目指しましょう

京都市では、平成18年度から京都市民を対象に、認知症を理解し認知症の人や家族を地域で見守り支援する認知症サポーターの養成に取り組んでいます。現在、京都市内には約11万6千人(平成31年3月現在)の認知症サポーターが誕生しています。今年6月には、政府が認知症の人が約700万人(推計)に達する2025年までの施策を盛り込んだ新大綱を発表し、今後更に認知症の人が暮らしやすい社会の実現を目指した取組が期待されます。私たちの住むまちが、認知症の人にやさしいまちになるようにできることから取り組んでみませんか。

【認知症新大綱のポイント】2本柱

認知症の人が暮らしやすい社会を目指す従来方針の
「共生」

発症や進行を遅らせる
「予防」

具体的な施策(一部抜粋)

①普及啓発・本人発信支援

- ・認知症に関する理解促進
(認知症サポーター養成の推進、子どもへの理解促進)
- ・認知症の人本人からの発信支援
(認知症の人本人がまとめた「認知症とともに生きる希望宣言」の展開)

②予防

③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- ・バリアフリーのまちづくりの推進
- ・移動手段及び交通安全の確保の推進
- ・地域支援体制の強化

⑤研究開発・産業促進・国際展開



地域の取組で子どもと一緒に声かけ訓練をしています。

高齢サポート
介護施設など



金融機関で困っている人の話をじっくり聞く等丁寧な対応を心掛けています。

認知症バリアフリー 認知症の普及・啓発の取組

認知症に対する正しい理解をもつことは、現在の認知症の人やその家族を支えるだけでなく、今後認知症になるかもしれない自分を支えることにもつながります。

医療機関

警察・消防
交通機関
(鉄道・バス)
タクシーなど

地域住民

スーパー
コンビニ
銀行・郵便局
など



切符の買い方が分からない人に買い方を説明するなど丁寧な対応を心掛けています。



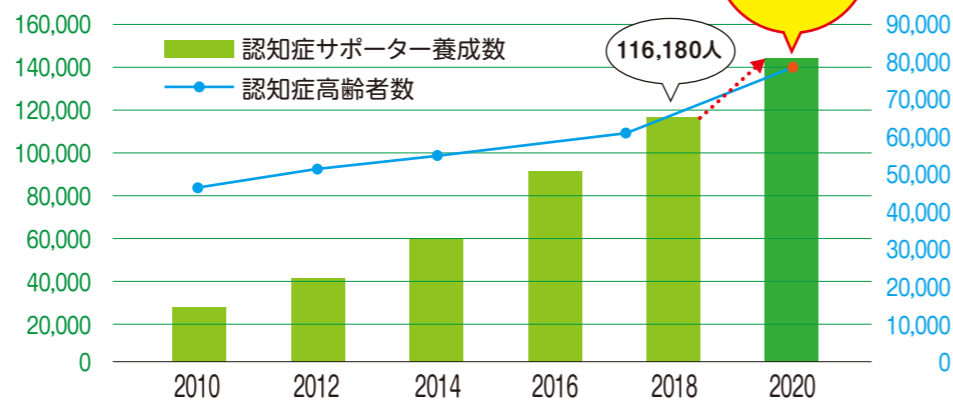
オレンジカップ
認知症の人と一緒にフットサルを楽しんでいます。



認知症カフェ・サロン
認知症の正しい理解を広げたり、認知症の人や家族が集える場を開催しています。

京都市内の 認知症サポーター養成数と 認知症高齢者数(推計)の 推移を示したグラフです。

認知症高齢者数の推移は京都市民長寿すこやかプランを基に作成



市民ボランティア(認知症アドバンスサポーター)の活動

長寿すこやかセンターでは、平成23年度から認知症サポーターから一歩進んで、認知症の人やその家族に関わるボランティア「認知症アドバンスサポーター」の養成と活動支援に取り組んでいます。

認知症アドバンスサポーターの活動は、市内の認知症カフェやサロンの運営や認知症サポーター養成講座開催のお手伝い、地域の中で孤立しがちな認知症の人や家族の身近なお話し相手などです。また、新たな活動として、今年度から「認知症の理解をひろめ隊」を始めました。認知症アドバンスサポーターの活動に関心がある方は、長寿すこやかセンターへお問合せください。

「認知症の理解をひろめ隊」活動のマスコット「ロバ隊長」

